

白山市発達相談センターだより

第 2 号
H28年3月
発行

白山市では、発達障害などで乳幼児期や学齢期のお子さんの発達について悩んでいる保護者の方をはじめ、就労や人間関係などのつまずきを抱えている方の相談に応じ、各関係部署と連携をとりながら、発達障害の早期発見と継続かつ一貫した支援を行い、それぞれのライフステージに応じた支援をするための体制整備等に取り組んでいます。

当センターが発足して3年目となり、来年度も各講演会・研修会の開催を企画しておりますので是非ご参加ください。また、センターだよりの方もご覧下さいね。



9月

♪ ミュージックケア ♪

講師
日本ミュージックケア
協会 認定指導者
吉田茂樹氏をお招き
しました。



参加者の声

♪いつもとは、また違った刺激を受けられてとても有意義な時間を過ごせました。
♪本人がとても楽しそうで良かったです。

♪ 就学サポート相談会「保護者体験談と放課後の過ごし方」.....

内容 就学サポート相談会では、小学校就学に心配や不安を抱いている保護者を対象とした相談会を全4回シリーズで開催しています。 今回の内容 ・「通級指導教室」「特別支援学級」「特別支援学校」各々保護者の方からの体験談
・「放課後児童クラブ」と「放課後等デイサービス」の説明

【発表者】

通級指導教室在籍の保護者 通級の先生と話しをするとわが子の特性を理解してくれ、とても話が通じ安心しました。また、申し送りの資料を自分で作成し、通級と担任の先生にお渡ししました。初めての事が苦手なことから、入学式のリハーサルやプール見学で事前に段取り・流れを一緒に歩いて回り確認すること、運動会のダンスのDVD（後姿版）を作成してくれたりと、皆の中に参加するための個別指導を受けています。

特別支援学級在籍の保護者 最初は不安でしたが、学校で話し合いの場を設けて頂き、親身に話を聞いてくれました。また先生たちが、わが子に会うことをとても楽しみにしてくれていたことから、自分自身が安心し、子どもも安心して入学する事が出来ました。

特別支援学校在籍の保護者 何度も何度も学校見学し「わが子の発達をサポートしてもらうための最良の場所はどこか」と考え、わが子が過ごす姿を想像できる学校を選びました。入学後も対応が違うのではと感じた時、本当に必要な配慮なのか、自問自答するためにひと呼吸おいてから伝える様にしていました。皆さんへ：それぞれ与えられた環境は全く違いますが、子どもの成長を願う親の気持ちは一緒。「子どもが伸びるとき…ちょっとだけ背伸びした環境（スモールステップ）」を考え、悩みに悩んで下さい。



参加者の声（保護者）

☆保護者の方の体験談を身近に聞いてよかったです。
☆放課後デイサービスと児童クラブについても詳しく知ることができました。



「自閉症(高次脳系)の子についての学習会」

講師 日本ポータージ協会 認定相談員 小坂 正栄 氏

内容 具体的な支援の方法（予定・見通しを持って行動するための予告の仕方、場面切り替えの支援方法、困った行動を減らすための物理的構造化・視覚的構造化の工夫、言葉かけのアプローチ方法など）についてご講演いただき、その後グループワークにより学びを深めました。

参加者の声（保護者）

- ♥親はゆれて当たり前というのが、とてもうれしかったです。父のゆれ方を認めていこうと思いました。
- ♥小坂先生のお話はいつもポジティブになれて大変勉強になります。今日もパワーを頂いて子育てにつなげたいです。

参加者の声（支援者）

- ♥ポジティブにプラスに考えた言葉かけや、認め言葉かけが不足していたと反省させられました。いかに得をするか気持ちが切り換えられるよう、大人にかかっているんだなと感じました。

特別講演会「発達障害の理解と二次障害の予防について」.....

講師 信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部
部長・診療教授 本田 秀夫 氏

内容 二次障害の予防のために、思春期前から社会参加に必要なスキルを持てるようにするための育て方・関わり方「苦手なことを出来る様にしようとするのではなく、大人になるまでに出来る様になればよい」「感情的にならずに本人に合わせて、得意なことを伸ばし、苦手なことに苦手意識を持たないよう関わること」「命令ではなく、『提案と合意。』」などをご講演いただきました。当日は、150名もの方にご参加いただきました。



参加者の声（保護者）

- ◇できない事ばかりが目につき、マイナスに捉えていたけど、人と同じようにさせる必要はないと気づきました。
- ◇今まで（特に最近）苦手なことをどうできるようにするか、しかも皆と同じ方法であることを考えてしまっていたので、本人の得意なことを伸ばす方法を考えていきたい。
- ◇心がとても軽くなりました。子どもの心が健やかに、親の立場として、支援者としても一緒に考えて悩みながら、いつか訪れる自立の時に向けて、歩いていきたいと思いました。
- ◇これまで、こうした方が良かったと思っていたことが、逆に良くないことでした。
今、一生懸命になりすぎて無理になっていたこと（本人には逆に良くなかったこと）に気づかされました。

参加者の声（支援者）

- ◇接し方のポイントで特に視覚提示を生かしていきたいと思いました。命令ではなく、提案。感情的にならない。姿勢の崩れはある程度認める場面があってもよい。
「コツコツよりも一発勝負、前もってよりギリギリセーフ。」もOK。
- ◇なかなか難しいと思いますが、共感し、こだわりの部分をうまく利用できるような支援をし、一緒に生活して行けたらと思います。



内容 行動の背景となっている発達特性や「本人なりの理由や事情」を理解しようと努め、対応を家族と共に一つずつ検討すること。立ち直りの支援は、年齢問わず、段階的に「母親離れ」と「自分探し・自分作り」の経験を何度もやり直すことが大事であることなど発達障害や思春期の心の動き、支援についてご講演いただきました。

🎧 「不登校・引きこもりと発達障害」

講師 公立松任石川中央病院 精神科・神経科
医師 武藤 宏平 氏



参加者の声（保護者）

□「やりなおす」しかない。やりなおせばいいんだと思ったら楽になりました。その子を支える人が一人でもいれば、良くなる。ことを信じて気ままにありのままに生きていきたいと思います。

□本人の気持ちや感覚を理解するのも難しく聞き出すのも難しいですが、もう少し様子を見ながら、慎重に聞き出して対応したいと思えてよかったです。

□先生のお人柄があらわれる優しくほっこりした講演会でした。

🎧 「自閉症児の理解」～擬似体験から学ぶ～

講師 つみきの会 相談役 柿木 晴美 氏

内容 自閉症の人は、「見え方」「聞こえ方」「感じ方」などの感覚が違います。その感覚を擬似体験（見え方、聞こえ方、不器用さ、話し言葉を理解することの難しさ、見通しの持ちにくさなど）することで、どのような声掛けや支援・対応があるとよいのかご講演いただきました。

下記写真は、視野が狭く、ピンポイントで見えている状態をつくり、物の見え方と不意に人や物が視界に入った時の感覚を体験中。

参加者の声（保護者）

🌟とてもわかりやすかったです。子どもの世界が少し見えました。エッこんなんだっただの？と思ったら、涙がでてきて・・・

🌟でこぼこのある子の見え方、感じ方について少しでも配慮できる方が増えてくれると嬉しいなあと思いながら学びました。

参加者の声（支援者）

🌟なかなか子ども（自閉症児）の思いが分からず、日々の保育園の中でも戸惑う事があったが、今日、実際に擬似体験した事で、子どもの気持ちに少しかもしれないが、近づけたような気がします。

🌟自閉症の子がどれだけ不安で不快な思いをしているのか良くなった。

「ちづる」「音符と昆布」
「幸せの太鼓を響かせて
～INCLUSION～」
映画上映会開催しました！



🎧 ミュージックケア♪

講師 日本ミュージックケア協会 認定指導者
吉田 茂樹 氏



参加者の声（保護者）

♪毎回、心がほっとします。

♪子どもなりに楽しんでいてよかったです。

参加者の声（支援者）

♪ミュージックケアに1度講習を受けさせてもらい、今回は実践という事で、子ども達の喜ぶ姿や遊ぶ様子などが見られて、とても勉強になりました。園に戻ってやってみたいと思います。



❷ 1部「発達障害者の就労について」

❷ 2部「当事者の体験談」

講師 石川県発達障害支援センター
心理判定員 山下 いづみ 氏



内容

「福祉サービスを利用しない就労」と「福祉サービスを利用した就労」についての概要と3事例を基に、就職し、就労継続するために必要なこととお話しいただきました。小さい頃から支援や配慮をされてきた人は、それによって上手くいったという経験により人に対する基本的な信頼感が持つことができたり、金銭管理も小さい時から本人の特性を知り、日常生活の中で培っていくことなど、就労していくために、どのような関わりや支援、本人自身がどのように身につけていくかをお話しいただきました。

【発表者】

「障害者枠で一般就労し一人暮らししている方」と「就労移行支援で一人暮らししている方」に今の仕事内容や小さい時のこと、一人暮らしの良い事悪い事、余暇の過ごし方など率直にお話しいただきました。

参加者の声（保護者）

- ◎当事者お二人の具体的な発表をお聞きして、大変勉強になりました。
金銭面や生活面での対策をお話しただけなのは、勉強になりました。

参加者の声（支援者）

- ◎大変わかりやすく考えさせられることが多かったです。
- ◎仕事（職場）のみでなく、人間関係にも活用でき、心がけてみたいです。



【ワンポイントアドバイス】 ～ 一人ひとりの力を伸ばすために ～

発達相談センター 保健師

発達相談センターでは、主に幼児期のお子さんの相談を担当しています。

一人ひとりの力を伸ばすためには、親の十分な理解と適切な関わりが必要だということはあるかもしれませんが、親にとって、特に幼児期はこれからの成長に対して期待いっぱいの時期！

親が子どもとの関わりにくさを常に感じている場合も、「そのうち伸びてくる」と自身に言い聞かせるなど、我が子の特性を冷静に見極めることが難しい場合が往々にして出てきます。

そのために、私たちはお手伝いをさせてもらっていると思っています。気になることがありましたら、何なりとご相談ください！相談の過程で乳幼児健診の時期を迎える子については、できる限り安心して健診を受けられるよう調整もさせてもらっています。ところで、発達センターの講演会・研修会は、私達が個別相談だけでは伝えきれないこと、

親御さんや支援者の方々にぜひ学んでほしいと思う内容について企画・実施しています。

『百聞は一見に如かず』 ぜひご参加ください！

私達スタッフも共に勉強させてもらいながら、色々な形でお手伝いをしていきたいと思っています♪



白山市発達相談センター
〒924-0865
石川県白山市倉光八丁目 16 番地 1
Tel076-276-8819 Fax076-276-6291
白山市発達相談センターだよりは
白山市ホームページからダウンロードできます。



はっちゃんから一言
次回の発行は、平成
28年8月だよ♪
またね！